

ルクセンブルク経済・金融情勢（2015年9月前半）

1. 経済

- 統計局によると、2015年8月のインフレ率は年率+0.6%（前月は+0.6%）。（3日ターゲブラット紙及びChronicle.lu電子版）
- 2013年の付加価値税（VAT）納付率に関する欧州委員会の報告書によると、VATの課税額と納付額の差であるVATギャップは、ルクセンブルクが5.1%、EU加盟国平均が15.2%。ルクセンブルクの行政の効率性の高さが反映された結果と見られる。（8日付ヴォルト紙）
- 5日に発表された中小企業の税務に関するOECD報告書によると、ルクセンブルクで生じた付加価値の84%を中小企業が産出しており、世界記録の水準。また、ルクセンブルクの中小企業の5年存続率は50%とEU加盟国中で最も高い水準。（9日付ヴォルト紙）

2. 金融

- KBLプライベートバンカーズの2015年上半期の純利益は7,200万ユーロ（前年同期比+44%）、グループ全体の収益は2.96億ユーロ（前年同期は2.90億ユーロ）。（1日付ヴォルト紙及びChronicle.lu電子版）
- 欧州投資基金は2015年上半期中に、今後2年間で1.1億ユーロをイノベーション分野で活躍する中小企業支援融資に当てる点で、BILとINGとそれぞれ合意。INGの融資はルクセンブルクに所在する企業、BILの融資はグレーターリージョンの企業を対象とする。融資額は2.5万から750万ユーロ、融資期間は1年から10年の範囲で設定できる。債務不履行の場合には、50%を上限として欧州投資基金が保証する。（10日付ヴォルト紙）
- ルクセンブルクファンド協会（ALFI）がまとめた上場投資信託（ETFs）情報によると、ルクセンブルクはETFsに関するヨーロッパ第2のハブであり、2015年6月時点でのETFsは465本、受託資産残高（AUM）は820億ユーロ。（10日付ALFIプレスリリース）

3. 政治

- グラメーニャ財務相、4-5日にアンカラ（トルコ）で開催のG20財務大臣・中央銀行総裁会議に出席。（7日付財務省コミュニケ）
- グラメーニャ財務相、8日、欧州議会で2016年EU予算に関するEU理事会の立場を説明。（7日付財務省コミュニケ）

※当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。